

製品名: PPP4C (2F11) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03425**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 35 kDa; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP4C
別名	PP4; PPX; PP4C; PPH3; PPP4
遺伝子 ID	5531
SwissProt ID	P60510
免疫原	ヒト PPP4C の組み換えタンパク質

背景

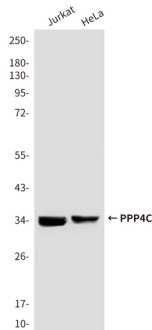
真核生物において、タンパク質のセリンおよびスレオニン残基におけるリン酸化および脱リン酸化は、分裂、恒常性維持、アポトーシスなど、幅広い細胞機能を制御する上で不可欠な手段です。このプロセスに深く関与するタンパク質群の一つが、タンパク質ホス

ファターゼです。一般的に、タンパク質ホスファターゼ (PP) ホロ酵素は、調節サブユニット、可変サブユニット、および触媒サブユニットからなる三量体複合体です。タンパク質ホスファターゼ触媒サブユニットには、PP1、PP2A、PP2B (カルシニューリン)、および PP2C という 4 つの主要なファミリーが同定されています。さらに、タンパク質ホスファターゼ触媒サブユニットである PPX (別名 PP4) は、新しい PP ファミリーの推定メンバーです。

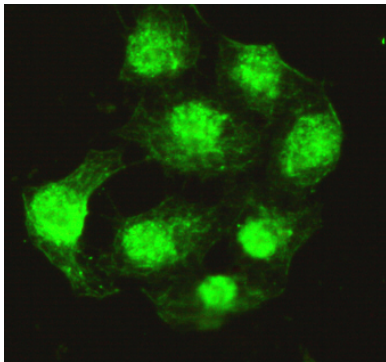
研究分野

シグナル伝達

画像データ



タンパク質ホスファターゼ 4C 抗体を使用した、Hela および Jurkat 溶解物中のタンパク質ホスファターゼ 4C のウエスタン ブロット分析。



PPP4C 抗体を用いた HeLa 細胞における PPP4C の免疫細胞化学分析。

タンパク質ホスファターゼ 4C 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。